

令和4年度 へしきや・かなさこども園職員自己評価実施報告

1, 実施期間 令和4年4月～令和4年12月

2, 評価基準 A:良好 B:おおむね良好 C:やや改善 D:要改善

3, 評価内容と結果 (実施した保育教諭 10名)

領域	評価の視点	評価の項目	A (%)	B (%)	C (%)	D (%)
保育の計画	全体的計画の編成	幼保連携型認定こども園教育・保育要領に示されたねらい、内容を生活に取り入れた編成	10	70	20	0
	指導計画の作成と展開	長期・短期計画の作成	50	50	0	0
		生活の連続性・子どもの姿を考慮	20	70	10	0
	発達過程に応じた保育	3歳以上児への協同的な活動の促し	30	60	10	0
	特別支援保育の対応	指導計画への位置づけ	10	80	10	0
		保護者・関係機関との連携	50	40	10	0
	関係機関等との連携	関係校区小学校との連携	20	30	40	0
保護者・地域との連携		30	50	10	10	
健康及び安全	子どもの健康支援	健康状態等の把握と疾病等への対応	60	40	0	0
	環境及び衛生管理・安全管理及び業務の改善	設備・用具などの衛生管理	70	30	0	0
		安全点検・避難訓練等の実施	80	20	0	0
	食育の推進	食育計画の作成と実践	40	20	40	0
アレルギーなどへの対応		90	10	0	0	
職員の資質向上	施設長の責務	法令順守・職員指導・研修への促し	80	20	0	0
	自己研鑽	研修等への積極的な参加	10	50	40	0
	目標管理	一年間の目標設定と振り返り	20	40	20	20

へしきや・かなさこども園職員における園の評価・意見

領域	評価の視点	評価の項目	評価・意見
保育の計画	全体的計画の編成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼保連携型認定こども園教育・保育要領に示されたねらい、内容を生活の取り入れた編成 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認定こども園教育・保育要領を理解しているがまだまだできる事があると思う。 ・ もっと理解を深めたい。 ・ 各クラス全体的な計画から 10 の姿に添った計画を立てられている ・ 子ども達の発達状況に応じながら職員で話し合い作成することができた。
	指導計画の作成と展開	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長期・短期計画の作成 ・ 生活の連続性・子どもの姿を考慮 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前月の子ども達の姿を職員間で話し合い年間計画や月案を見比べ次月の計画を作成できた。 ・ 年間指導計画を基に各クラスの実態を踏まえながら指導計画を作成し月末に評価・反省を担任同士で話し合い子どもの姿に考慮しながらよく月の指導計画に活かしている。 ・ 活動や遊びを年齢や成長過程の把握、見通しを持って計画を立てられている ・ 指導計画の実践が思うように進められていなかったと感じる。
	発達過程に応じた保育	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3 歳以上児への協同的な活動の促し 	<ul style="list-style-type: none"> ・ いろいろな活動を経験する中で友達同士教え合いながら楽しく参加する姿が見られた。 ・ 日頃の活動や行事を通して子ども同士の関わりが深まっている。 ・ 保育教諭が一人一人を大事に関わり子ども達が主体となり協力することができている。 ・ グループ活動や行事、音体活動などにより協同性を育むことができた。
	特別支援保育の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指導計画への位置づけ ・ 保護者・関係機関との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者や関係機関と連携し子どもの育ちに考慮しながら個別の教育支援計画を作成している。連絡帳や降園時など園の様子を保護者や児童デイの職員に伝えている。 ・ 巡回相談を利用しかかわり方や環境構

		<ul style="list-style-type: none"> 成などアドバイスをもらっている。 ・特別支援が必要な子への適切な対応について研修等に参加し学びを深めたい ・保護者との連携は常に行っているが職員同士の共通理解が課題である。 ・支援児の保護者や関係機関と話し合い連携を図った。児童デイ職員とモニタリングを通し情報交換を行った。 ・登降園時に積極的に保護者に話しかけ園での様子を話しながら家庭での困り感を聞き、巡回相談、のびのび相談等とつなげることができた。
	<p>関係機関等との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係校区小学校との連携 ・保護者・地域との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・園便りと小学校だよりで交流している ・運動場やプール活動、畑の利用を行っている。 ・小学校の運動場を利用したり校長先生や教員との連携はあるがこども園と小学校との関わりが少ない。 ・保護者や地域との連携はあったが関係校区小学校への状況が把握できていない。 ・コロナ禍の為、地域交流が思うようにできなかった。 ・就学先の小学校と事前の連絡会に参加し情報共有している。
健康及び安全	<p>子どもの健康支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康状態等の把握と疾病等への対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・登園時に検温や視診、保護者とその日の体調確認をしている。 ・掲示板に感染症について知らせたり内科検診、歯科検診の結果を保護者へ伝えられた。 ・子どもの体調の変化に気付けるよう日々心掛けている。 ・朝の受け入れ時にケガを見落とし保護者に確認できないことが数回あった。視診をしっかりと行う。 ・登園時から一人一人の健康状態を把握し気になることがあれば担任間で話し合い主幹、園長に相談するよう努めた
	<p>環境及び衛生管理・安全管理及び業務の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設備・用具などの衛生管理 ・安全点検・避難訓練等の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月、自分の身は自分で守り安全に避難できるように避難訓練を実施している。 ・初期消火の訓練を毎月職員交代で行い火災発生時には全職員が対応できるよ

		<ul style="list-style-type: none"> うにしている。 ・保育室や園庭など日頃手の届かない細かな所を掃除してもらい、早番、遅番の職員で安全点検を行う。 ・園庭固定遊具の安全面に関して、職員で意見を出し合い、危険箇所や職員の立ち位置等を確認、改善を行いフローチャートで掲示している。 ・おもちゃの消毒を行い衛生管理に努めた
食育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・食育計画の作成と実践 ・アレルギーなどへの対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・食育専門リーダーを中心に毎月1回給食会議を行い、誕生会や行事食など子ども達が楽しく食べる環境づくりができた。食育計画では栽培活動がうまく進められなかった。 ・食育集会や給食会議に参加しメニュー改善や提案につなぐことができた。 ・個々に応じたアレルギー食を安全に提供できた。 ・食育集会では様々な計画を立案し子ども達の食べ物への興味関心を高めることができた。
保育教諭の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> ・研修等への積極的な参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・初任者研修（法定研修）を受講した。次年度は分野を広げて受講したい。 ・特別支援教育コーディネーター研修や地域コーディネーター研修など積極的に参加した。 ・月に1回、研修への参加があっても良かった。次年度は自ら探し研修を受講する ・オンライン以外の研修も取り組みたい。 ・自主的に参加できなかった。
目標管理	一年間の目標設定と振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の子育て家庭の交流や保護者への子育て相談など子育て支援事業の修理不足を感じた。次年度は工夫していく。 ・第三者評価や園の自己評価を通して目標管理ができています。

		<p>一年間の目標設定と振り返り</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達一人一人の特徴を理解し自分なりに対応できたがもっと保育の知識を深め子ども達への適切な対応を学んでいきたい。 ・今年度本園から移動になりこども園の運営、園の流れ、新たな職員との信頼関係を築くことを自分なりのペースで行った。 ・次年度は園の役に立てるよう努めたいと思います。 ・振り返りと改善、実践を日々の保育の中で行えるようにする。 ・コロナの影響で上手く行事ができなかったが工夫しながら子ども達と楽しく活動や行事に取り組めた。 ・報告・連絡・相談を意識して仕事ができたとと思う。 ・保護者とのコミュニケーションが苦手であったが子育て支援・保護者支援の研修を受講し保護者との信頼関係はコミュニケーションから得ることを学びたくさんの情報を発信することができた。 ・初任者研修で環境構成や指導計画、評価・反省など様々なことを学び自分なりに試行錯誤しながら保育に努めていくが改善点がある。挨拶から積極的に元気に行っていく。

1. 園の教育・保育目標

- へしきや・かなさこども園の理念
「生きる力・強い心を持つ子どもを地域とともに育てる」
- 教育・保育目標
「明るい子ども・丈夫な子ども・元気な子ども・考える子ども」

2. 本年度の目標

- ・信頼できる関係を基盤とした安心できる生活を保障する
- ・子ども達が自発的、主体的な活動を楽しめるよう環境づくりに努める
- ・研修の充実を図り、職員の資質向上を図る

3. 園評価の総評と今後の取り組み

- ・職員一人一人が子ども、保護者に寄り添う姿勢を意識し、こまめなコミュニケーションや丁寧な言葉使い、個人面談等を通して信頼関係構築に努めた。保護者コメントリレー（保護者だより）も月1回発行することができた。
- ・コロナ禍であったが時間の縮小や人数制限などの工夫で行事に取り組み子ども達の豊かな感性や情緒を育むことができた。
- ・職員の資質向上では研修計画に基づき園内研修や法定研修、キャリアアップ研修など受講し復命書や園内研修で共通理解を図ることができた。
- ・園評価を通して職員一人一人が目標を立て、日々の活動や行事など、計画、実践、評価、改善と PDCA サイクルが定着している。保育の質の向上や保育者自身の成長につながるよう今後も振り返り時間の確保に努めたい。
- ・次年度は県内・県外研修を充実させて更なる職員の資質向上を図る。
- ・小学校との連携では職員同士だけでなく、子ども同士の交流を通して小学校への憧れの気持ちや親近感が持てるような計画・立案に努める。
- ・地域行事参加など地域間交流体験活動を計画し地域や社会とのつながりを感じながら自分の住む地域に親しみを持てるような活動を推進していく。